

鋼板ブレース内蔵プレキャストコンクリート板工法

騒音・振動を発生させない耐震補強技術

お客様のメリット

- 通常の鉄筋コンクリート壁より薄くできます
- 建物を使いながら耐震補強ができます
- 工期短縮が可能です
- 通路用の開口を確保することができます

本工法は、既存の鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造建物の骨組の内側に、補強壁を増設する工法です。補強壁としてX型の鋼板ブレースを内蔵したプレキャストコンクリート板を接着接合で既存骨組と一体化させて構築します。補強壁には通路用の開口を確保することができます。

プレキャストコンクリート板同士は、鋼板ブレース端部で高力ボルトを用いて接合し、その接合部分とプレキャストコンクリート板の目地部分には無収縮モルタルを充填します。プレキャストコンクリート板と既存骨組が接する面にはスタッドボルトを取り付けた鋼板を設置し、エポキシ樹脂を注入し既存骨組と接着接合します。ボルト接合および接着接合方式ですので、工事に伴う騒音・振動が少なく、建物を使いながら短工期で耐震補強工事を進めることができます。

※ 本工法は、財団法人 日本建築総合試験所の建築技術性能証明「GBRC性能証明 第06-24号 改」を取得しています。

